ほっかりいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校　学校だより　令和３年度　９月号

緊急事態宣言下の２学期が始まりました。

登校後の手洗いから始まり、給食の黙食やほかほか活動の制限など、不便なことも多い中でも、子どもたちは元気にがんばっています。子どもたちの話や欠席連絡からは、保護者のみなさまが、感染拡大防止へ、最大限のご協力をくださっていることも実感しています。学校でも、引き続き、感染拡大防止と学びの保証の両立に向け、知恵を絞っていきたいと思います。

係のお仕事

今年もやってきました！生まれたての赤ちゃんカメたち

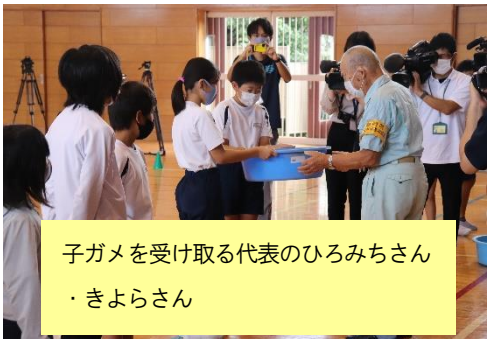
赤ちゃんカメと対面

今年は産卵が少ないと言われていたアカウミガメですが、その貴重な卵が今朝、孵化したと、保護監視員の髙田様よりうれしいご連絡がありました。

緊急事態宣言期間中のため、今年は飼育担当の５年生と引き継がれる４年生の二学年のみが参加し、子ガメの受入れ式を行いました。６年生は、カメ小屋で５年生と赤ちゃんカメをお迎えし、１～３年生はカメ小屋へ出向いて赤ちゃんカメと対面することになっています。

私からは、４つの数字、飼育活動はアカウミガメの保護であると共に、幸せな大人になるために必要な資質・能力を育んでくれる活動だということを伝えました。もちろん、お世話をよろしくお願いします、ということも。

５年生の子どもたちは、これから「冬のカメ当番」を初めて経験します。冷たい水仕事もありますが、すべて代々の５年生が体験してきたことです。代表のいろはさんはスピーチで、「こんなに小さいカメで不安もあるけど、がんばって育てたい」と話してくれました。


子ガメを受け取る代表のひろみちさん・きよらさん

快く海水汲みをさせてくださる漁協さまをはじめ、地域のみなさま、カギと見守りを担ってくださる５年生保護者のみなさま、カメ博士、ホワイトハウスさんなど多くの方の支えで成り立っている伝統の飼育活動です。水汲み、水替え、水質管理、エサの準備など職員もがんばります。

カメ小屋前で迎えてくれた６年生

山梨県の小学校からは、「来年度の修学旅行で御前崎小のカメをぜひ見学させてほしい」という依頼が届いています。

そんな御前崎小ならではのアカウミガメ飼育が、今年も再スタートしました。応援よろしくお願いします。

（生まれて初めて、赤ちゃんカメを見た教頭が「いやほんと、かわいいな。」を連発しているのを横目に「でしょう。」と余裕を見せてみた校長　仁平美和子）